

まぼろしへのかけはし



基本理念 希望のある医療

ケロイド・肥厚性瘢痕、キズあとについて

形成外科 西尾 優志

1 ケロイド・肥厚性瘢痕とは

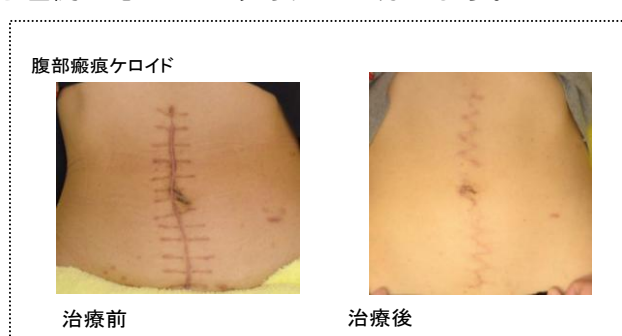
肥厚性瘢痕やケロイドは、傷が治癒する過程での異常が原因で生じる皮膚の繊維増殖性疾患の事です。境界明瞭な扁平もしくは半球状隆起で、色調は鮮紅色から褐色を呈します。

数年内に自然萎縮するものを肥厚性瘢痕といい、消退せず隆起が持続しているものを瘢痕ケロイドといいます。隆起がさらに高度になり、創面を越えて大きく盛り上がるようになったものを真性ケロイドといい、非常に難治性です。

真性ケロイドに特徴的な所見は、中央部は退色扁平化し、餅を引き伸ばしたように状態になります。側圧痛といって、横からつまむと痛い事が多く、強い痒みを伴います。

治療法は、①シリコンシート等による圧迫療法 ②ステロイド軟膏、局所注射

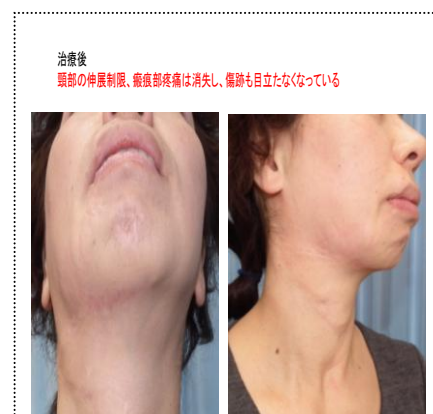
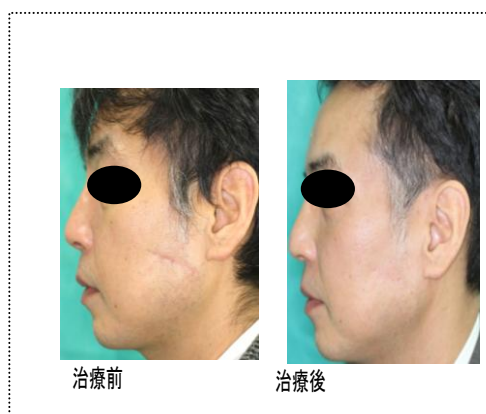
③内服薬（トラニラスト）④手術 ⑤放射線治療を症例に応じてくみあわせて行います。



2 キズあと キズあとの事を別名では瘢痕とも呼びます。

瘢痕には様々なものがありますが、主訴の観点から大別すると、①外見的に醜状が強い醜状瘢痕 ②「ひきつれ」いわゆる拘縮により機能障害をきたす瘢痕拘縮に分かれます。

どちらも基本的に治療は手術治療になる事が多いですが、軽度で受傷早期の場合は圧迫療法等による保存的治療で改善する可能性があります。



キズあとは、完全に消失する訳ではありません。ただ、少しでも目立たなくする事は可能です。形成外科の治療で、**キズあと**によって生じた精神的または機能的障害を少しでも緩和する事ができればと思います。気になる方は一度ご相談ください。

夏休み高校生ボランティア体験報告

8月23日(水)～25日(金)ボランティア活動のため高砂高校から8名の高校生が、病院ボランティアを体験に来られました。受診された方への、案内や花壇の手入れなど暑い中一生懸命、笑顔で患者様に接していました。

体験後、「影で支えてくれる方々のおかげで、病院を利用する方が、満足のいく治療を受けることに繋がっていると感じた」など素晴らしい感想を聞くことが出来ました。



お知らせ

1. 医師の異動

平成29年7月末日で **皮膚科** 下浦 真一医師が退職しました
9月1日より、**皮膚科** 坂口 正展医師が着任しました

2. 9月のホッとひと息寄り道講座

テーマ： がん検診でGO
講師： 健康福祉センター 健康増進課 担当者
日時： ①9月11日(月) ②27日(水) 10:00～10:30
場所： 正面玄関ホールの公衆電話前



3. オープンカンファレンス開催のお知らせ

日時： 9月28日(木) 17:30～19:10
場所： 2階講義室
テーマ： **【認知症】**
対象者： 医療職・介護職の方

※地域医療連携室まで申し込みをお願い致します(当日まで可)

4. 第2回 生活習慣病予防教室のお知らせ

日時： 9月20日(水) 13:30～15:00
場所： 2階講義室
テーマ： **食事でのばそう 健康寿命**
上手に飲めば生き生き寿命

※お問い合わせは、 内科外来(079-442-3981)内線(5804) をお願い致します

きぼうへのかけはし

に関するお問合せは、

地域医療連携室までお願いします。

連絡先 〒676-8585 兵庫県高砂市荒井町紙町33-1
TEL 079-442-3981 (内線5146)
FAX 079-443-1401
ホームページ <http://www.hospital-takasago.jp/>

